

遺伝子ネットワーク/パスウェイ解析データベース

IPA(インジェヌイティーパスウェイアナリシス)

論文等により得られた相互作用、生物学的機能、疾病情報、薬剤情報等がデータベース化されたソフトウェアで、ユーザーの遺伝子、タンパク、代謝産物リストを用いたネットワーク、機能解析や分子、相互作用等の辞書として使用可能です。

グローバルCOEプログラム「幹細胞医学のための教育研究拠点」でパスウェイ解析ソフトウェア「IPA」が2009年度試験導入され、ご好評を得ましたので2010年度継続契約をいたしました。概要や操作方法など基本から応用までレクチャー形式でご紹介いたします。

＜当日インターネット環境をご用意いたしますのでこの日だけご自分のPC、data等をお持ちくださって結構です＞

基礎編

日 時： 2010年5月11日(火曜日)
時 間： 14:00～17:00

14:00～ 第一部:IPAの概要

IPAの成り立ちや、基本的な機能をご紹介します。

14:15～ 第二部:遺伝子名や、疾患名等のキーワード検索

実際にIPAを使って、どのような解析が出来るのかデモをご覧ください。

15:00～ マイクロアレイのデータを活用した解析例

マイクロアレイのデータをお持ちの方や、今後解析をする方向けにIPAを使う秘訣をご紹介します。

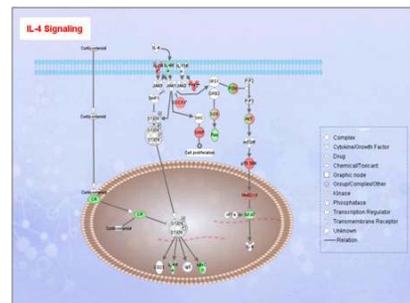
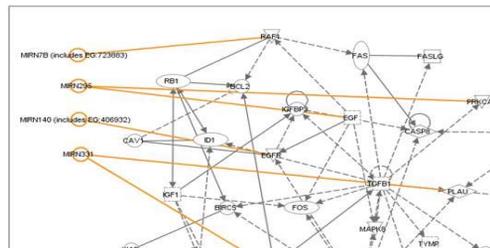
16:00～ Q&Aセッション

応用編

日 時： 2010年5月12日(水曜日)
時 間： 13:30～15:00

13:30～ マイクロアレイのデータを活用した解析

マイクロアレイのデータをお持ちの方や、すでに解析をしている方向けにIPAを使う秘訣をQ&Aセッション形式でご紹介します。



会 場： 信濃町 総合医科学研究棟 5階セミナールーム

ソフト導入場所

共利研中央機器管理部門 総合医科学研究棟3N7

PC(Win)#4

担当: 藤原